

議会だより 24号

平成22年度

各会計決算を認定

第3回定例議会が9月6日から10月6日までの31日間の会期で開催されました。

この定例議会では、市長から提出された平成22年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定についてほか13議案が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、認定されました。

このほか、最終日に国の関係機関に対する意見書の提出にかかる議員提出議案が1件提出され、審議の結果可決されました。

主な議決内容

○平成23年度一般会計補正予算は、9億6784万4千円を追加し、総額169億5666万9千円としました。

○議員より提出された「福島第一原子力発電所事故に係る観光産業等風評被害の追加認定を求める意見書について」は可決され、国の関係機関に意見書を送付しました。

平成23年第3回定例議会議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	いすみ市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第2号	新たに生じた土地の確認について	可決
議案第3号	字の区域の編入について	可決
議案第4号	平成23年度いすみ市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第5号	平成23年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第6号	平成23年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第7号	平成23年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第8号	平成23年度いすみ市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第9号	平成22年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第10号	平成22年度いすみ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第11号	平成22年度いすみ市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第12号	平成22年度いすみ市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第13号	平成22年度いすみ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第14号	平成22年度いすみ市水道事業会計決算の認定について	認定
報告第1号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成22年度健全化判断比率について	報告
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成22年度資金不足比率について	報告
発議第1号	福島第一原子力発電所事故に係る観光産業等風評被害の追加認定を求める意見書について	可決

決算 審査 報告

平成22年度一般会計及び各特別会計決算を審査するため、8名の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、9月27日、28日の2日間にわたり委員会審査を行いました。

各会計の決算審査にあたっては、予算が適正かつ効率的に執行されたかどうかを重点に審査を行い、活発な質疑が行われました。

なお、特別委員会では全ての決算が認定され、10月6日の定例議会最終日に、委員長が審査内容と結果を報告し、全ての決算議案が認定されました。

また、今後の行財政運営に反映させるよう検討されるべく、市当局に対し次の事項を委員会より指摘・要望しました。

1. 契約については、多くの業務で競争原理主義が働くよう、随意契約のあり方について検討し、入札制度のより一層の透明性、公平性、競争性の向上が図られるとともに、工期を遵守させ、工程の厳重な管理を行うよう努められたい。また、一般競争入札、電子入札を導入し、入札手続きなどの簡素化、経費の削減が図られるよう実施に向け検討されたい。
2. 補助金や負担金については、補助率、負担率や金額等の妥当性及び効果を改めて検証し、基準の再検討を実施されたい。また、補助団体の活動実態を把握するとともに、事業実績を周知する取り組みについて検討されたい。
3. 市税等の負担の公平性と歳入の確保のため、滞納整理については、積極的な対策を講じているが、今後も収納対策、徴収率の向上に向けた取り組みに努められたい。



▲決算審査特別委員会の様子

○決算審査特別委員会

委員長	石川光男 議員
副委員長	元吉 基 議員
委員	高森和久 議員・田井秀明 議員 横山正樹 議員・中村松洋 議員 高梨庸市 議員・君塚利雄 議員

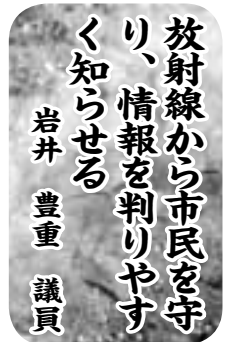
Q&A 一般質問 市政をきく

第3回定例議会の一般質問は、9月8日に7名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

(第3回定例議会の会議録は12月上旬に公開を予定しています。)

岩井豊重 議員	放射線から市民を守り、情報を判りやすく知らせる／津波対策の進捗状況／介護保険法の改正／税滞納者の生活状況の把握、対応
田井秀明 議員	子ども向けのワクチン接種の推進／緊急通報装置の貸与／東京電力福島第一原子力発電所由来と思われる放射性物質対策／チャイルドシートの装着促進／小・中学校における学力向上策
山口朋子 議員	保育行政／学校図書館の整備充実
高梨庸市 議員	老人福祉／熱中症対策と健康管理／利用再生エネルギー／いすみ市の広報
高森和久 議員	市民の健康対策／PRE(公的不動産)戦略の導入
中村松洋 議員	子供達の教育／産業振興策
荒井正 議員	介護保険の充実／国保会計の健全化／平和行政の推進／防災対策



岩井 豊重 議員

放射線から市民を守り、情報を判りやすく知らせる

答
土の入れ替えや水による洗浄を行う

岩井議員 保育所や小・中

学校などで放射線量測定を行っているが、異常値が出た場合の対応について伺いたい。

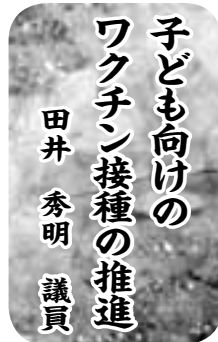
総務部長 市では、小・中

校のグラウンドや保育所の園庭、公園や子供の遊び場など36か所の測定を週一回行っていますが、異常値は測定されていません。

また、新たに小・中学校通学路の測定を8月下旬に10箇所行いましたが、やはり異常値は測定されませんでした。

国が除染を行う目安と市が定めた除染などを行う暫定基準値は毎時1マイクロシーベルトですが、市ではより安全を確保するため、市独自の暫定基準値を引き

下げ、除染を行う放射線量の目安を毎時0.25マイクロシーベルトとし、超える数値が小・中学校、保育所などで測定された箇所は、土の入れ替えや水による洗浄を行うなどの除染を実施してまいります。



田井 秀明 議員

子ども向けのワクチン接種の推進

答
時期や方法、有効性やリスクなど総合的に検討する

田井議員 次年度当初予算

編成で子ども向けにB型肝炎ワクチン接種の推進に取り組み考えはあるか伺いたい。

市長 B型肝炎は、主にB型

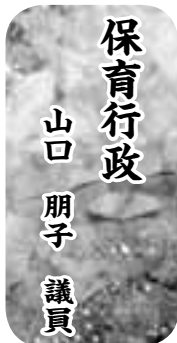
肝炎ウイルスに感染している人の血液や体液が他の人の血液に入って感染する肝臓の病気です。

現在、有効な感染予防法として、ワクチン接種があ

りますが、子ども向けのワクチン接種は、月齢・年齢に関わらず3回の接種が必要であり、接種完了までに6か月程度かかります。

日本では、母子感染予防のみが健康保険でB型肝炎ワクチンを接種できますが、それ以外の場合は自費接種となります。

市として、子どもを対象としたB型肝炎ワクチン接種については、子育て支援の一環として必要だとは思いますが、接種の時期や方法、有効性やリスクなどについて総合的に検討を行います。



山口 朋子 議員

保育行政

答
住民、保護者等の理解をいただき取り組み

山口議員 夷隅保育所が統合

完成したが、今後、大原地区での保育所の統合の考え方について伺いたい。

市長 市では、将来的な保育

所の適正な配置及び老朽施設の整備を進めていくため、保育所整備検討委員会から

建物の老朽化が進んでいる大原地域の第1保育所、第2保育所、第3保育所のほか浪花保育所の4保育所の統廃合を、住民の皆様の理解を得ながら進めることが

必要であるとの提言をいただき、大原地域内の市有地を予定候補地として検討しましたが、立地条件等で具

体化に至らなかった経緯があります。今後は老朽化とあわせて高台への立地が重要と考えますので、住民、保護者等のご理解をいただきながら施設の整備に取り組んでいくことが必要であると考えています。



高梨 庸市 議員

老人福祉

答
生活環境保全の整備に努める

高梨議員 高齢化社会が進む中、道路側溝の清掃、路肩の草刈りなど環境衛生の確立について伺いたい。

産業建設部長 道路側溝の清掃は、生活排水を放流している地域の住民の方々が、集落単位での奉仕作業として実施していただいています。

また、路肩の草刈りについては、市の作業員にて順次実施していますが、作業範囲が広いため、道路等に隣接している集落の方々の好意により対処していただいています。

しかし、高齢者に限らず、地域で対応ができないなど、市への要望件数が増えていることから、業者委託も視野に入れ、今後の対応策について検討する必要があります。

今後も地域皆様方のご理解とご協力をいただき、高齢者に過度の負担がかからない生活環境保全の整備が図れるよう努めます。

市民の健康対策

高森 和久 議員

答
公費助成について検討する

高森議員 脳脊髄液減少症に対するブラッドパッチ療法は保険適用外のため、保険適用になるまでの間、市として公費助成を図る考えはないか伺いたい。

市民生活部長 脳脊髄液減少症は、頭部などへの強い外傷により脳脊髄液が漏れ続け、頭痛や首の痛み、めまいなど様々な症状を引き起こす病気といわれ、現在、診断基準や治療方法が確立されていません。

最近、この病気に対する治療法として、硬膜と脂肪組織に患者自身から採取した血液を注入するブラッドパッチ療法が開発され、その治療効果が明らかになってきました。

しかし、この療法は現在のところ保険診療で認めら

れておらず、検査・治療・入院費で高額な費用がかかると聞いています。

市としては、患者の治療費負担の軽減を図るため、治療費の公費助成について検討していきたいと考えています。

子供達の教育

中村 松洋 議員

答
積極的に取り入れるよう努める

中村議員 地元の小学生を対象に農・漁業体験を行う考えはあるか伺いたい。

教育長 農業体験については、市の地域性から野菜の栽培活動など多くの小学校で行われています。

漁業体験については、地元で水揚げされる魚の種類を調べる、船を観察し絵に表す等の学習を行っています。実際に船に乗って漁を体験するという活動については、市内の小学校では行われていませんが、中学1

年生を対象に夏休み期間中に体験活動を行っていただきます。

農業・漁業以外にも、望ましい勤労観・職業観を育成するために、小学校と中学校では、市内の多くの事業所の協力を得て、職場体験活動を計画的に実施しています。

今後とも、こうした体験学習を積極的に取り入れるよう努めていきたいと思えます。

介護保険の充実

荒井 正 議員

答
新たなサービス
の充実に努める

荒井議員 平成24年度から始まる第5期事業計画の内容について伺いたい。

市民生活部長 介護保険法の改正により創設された、介護予防・日常生活支援総合事業は、要支援と非該当の境にある方を予防給付とするか、生活支援サービスと

するかを市が判断し、サービスを提供する事業ですが、市としては、要支援の方は予防給付により、非該当とされた方には、高齢者福祉計画での生活支援サービスを基本として考えています。

市としまして、新たに導入される各種支援策の充実に取り組むため、ニーズ調査や事業所アンケート調査を基に、また施設整備については、近隣市町村の介護施設の整備状況を考慮しながら、いすみ市介護保険運営協議会等の意見を伺い、計画に反映したいと考えています。

山口 稔議員

議員を辞職

山口 稔議員から、一身上の都合により、議員辞職願いが提出されましたので、平成23年8月31日に議長は許可しました。

市政を知るために
議会を傍聴しませんか

第4回定例議会日程(予定)
12月6日(火)10時 開会
議案の上程

8日(木)10時 一般質問
13日(火)10時 議案質疑
14日(水)9時 委員会
15日(木)9時 委員会
22日(木)10時 委員長報告
議案審議
閉会

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会には誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。

傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受け付けをお願いします。
なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

編集 議会だより編集委員会
0470-62-1406
ホームページアドレス
http://www.city.isumi.lg.jp/
メールアドレス
gikai@city.isumi.lg.jp